

第八十一回帝國議會 衆議院 農業團體法案外一件委員會會議錄(速記)第十回

付託議案
農業團體法案(政府提出) (第四五號)
水產業團體法案(政府提出) (第四六號)

昭和十八年二月十日(水曜日)午前十一時九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東郷 實君

理事恒松於菟二君 理事成島 勇君

理事西川 貞一君 理事濱地 文平君

理事吉田 正君

青山 憲三君 池田正之輔君

石坂 繁君 馬岡 次郎君

岡田啓治郎君 奧 久登君

加藤 知正君 金子彦太郎君

北 勝太郎君 小山邦太郎君

小平 權一君 鈴木 重次君

杉山元治郎君 高橋壽太郎君

高田 耘平君 土屋 源市君

中井 亮作君 中川 寛治君

松原五百藏君 松山常次郎君

間宮 成吉君 山口左右平君

山口馬城次君 吉植 庄亮君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 井野 碩哉君

出席政府委員左ノ如シ

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省水產局長 寺田 省一君

農林書記官 藤田 巖君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農業團體法案(政府提出)

水產業團體法案(政府提出)

○東郷委員長 會議ヲ開キマス——濱地文平君

○濱地委員 本日豫算委員會ニ於キマシテ軍狀報告ヲ聽キマシテ、私共ハ唯涙ヲ敵國ニ對スル敵愾心ニ燃エテシマヒマシタ、其ノ爲ニ、質問セントスル箇條モ相當アルノデゴザイマスルケレドモ、何ダカ質問ニ力ガナクナツテシマツタヤウナ氣ガスルノデアリマス、只今ヨリ當局ニ質問セントスルモノハ、決シテ反對ノ爲ノ質問デナクシテ、心カラ勝チ拔カンガ爲ノ、本當ニ協力セントスル爲ノ質問デアルト云フコトヲ御諒解下サツテ御聽取リヲ願ヒタイノデアリマス、

翼賛政治ト申シマスル場合ニ於テ、吾々議會人ハ此ノ際議會ノ時バカリデナク、平素ニ於テ政府ニ翼賛協力スル必要ガアルト思フノデアリマス、各省ノ委員ト云フモノガ設置セラレテ居ルノモソレニ依ルモノデアルト思フノデアリマス、私ハ此ノ意味ニ於キマシテ、個人ト致シマシテモ、下情上通ノ意味デ、地方ノ特別ナル事情ヲ見タ時、聞イタ時ニ於キマシテハ、口頭ヲ以テマシテ常ニ政府當局ニ報告ヲ申上ゲテアルノデアリマス、譬ヘテ申シマスルト、或ル純山村ニ於ケル米麥食糧事情ノ極メテ、悲壯ナル逼迫シタル狀態、是等ノコトヲ曾テ大臣ニ手紙ヲ以テ個人的ニ御報告申上ゲタノデアリマスガ、大臣ハ斯ウ云フ場合ニ於テ、直チニ吾々ノ此ノ下情上通ヲ取上ゲテ、御自身ハ御忙ガシケレバ、下僚ノ人ヲシテデモ調査セシメテ、サウシテ御參考ニセラルルコトガ至當デハナイカト思フノデアリマス、曾テ私ハ或ル村ノ主要食糧問題ニ付テ

手紙ヲ以テ報告申上ゲタコトニ對シテ、ドウ云フ取扱ヲセラレタカラ承ツテ置キタイト思ヒマス

尙ホ此ノ際序デニ申上ゲテ置キタイと思ヒマスコトハ、大臣ガ地方事情ニ付キマシテ一生懸命ニナツテ御視察ヲセラレテ居リマスルコトハ吾々能ク知ツテ居リマス、ケレドモ大臣ノ格式ヲ以テ視察セラルル場合ニ於キマシテハ、本當ノ地方事情ガ分ラナイコトガ澤山アルノデアリマス、例ヘバ曾テ農林大臣ハ某縣ノ農地開發營團ヲ視察セラレタコトガアリマシテ、私モ隨行シテ行ツタコトガアリマス、ソコデ見タ事實、接シタ事實ハ、大臣ガ歸ラレテカラ後デ私ガ新タニ調査ヲ致シマス、大臣ニ報告シタコトト實際トハ全然違ツテ居ルコトヲ知ツテ啞然トシタノデアリマス、又昨日ノ質問中ニモアリマシタガ、斯ウ云フ點ニ於キマシテ、机ノ上ノ御調べナドハ全ク違ツテ居ルコトガ多イダラウト思ヒマス、例ヘバ米ノ收穫豫想高トカ、或ハ收穫統計ナドニ於キマシテモ、相當書類ノ上ト實際トノ間ニ開キガアルト云フコトナドヲ私共ハ知ツテ居ルノデアリマスルカラシテ、此ノ際此ノ重大ナル時局ニ處セラレル大臣ト致シマシテハ、特ニ普段ニ於キマシテモ本當ノ實情ヲ調査スルニ當ツテハ、餘程御研究ヲセラルル必要ガアルノデハナカラウカト、此ノヤウニ感ジテ居ルノデアリマス

テ置キタイト思フノデアリマス、又大臣モ米價問題ヲ言フト非常ニ不愉快ニ思ハレルノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、併シ外ノコトヲ一回質問スルトシタナラ、米價問題ハ十回位質問シテモ嫌ラナイ位、ソレ程逼迫シタル重大問題ト私ハ思フノデアリマス、即チ今日米價問題程注目セラレテ居ル議題ハナイノデアリマス、而シテ此ノ米價問題ニ付キマシテハ、農林大臣ト私トノ考ヘ、政府ト私トノ考ヘニ於キマシテ、相當ノ隔タリガアルヤウニ思ツテ居ルノデアリマス、ソレデ洵ニ諄イヤウデアリマスルガ、極メテ簡單ニ此ノ問題ヲ取上ゲテ、最終ノ意見ヲ申上ゲテ、最終ノ質問トシテ見タイト思フノデアリマス米價ガ安イカラ米ノ收穫ガ減退スルト云フヤウナ議論ハ私ハ受取ラナイノデアリマス、又是ト反對ニ米價ヲ上ゲタカラシテ、上ゲタダケ増産ガ得ラレルモノデアアル、或ハ又上ゲタカラシテ今ノヤウナ閣取引ガナクナルト云フコトモ必ズシモ當ツテ居ルモノデナイ、斯ウ云フ風ニ私ハ思フノデアリマス、他ノ物デアリマスナライザ知ラズ、米ノ問題ダケハ、詰リサウ云フ今日ノ逼迫シタル實情、時局下ニ於キマシテ、安イ高イニ依ツテノミ外ノモノト同ジヤウニ律スルコトハ出來ナイノデアリマス、前日來皆様カラ申上ゲテ居リマスル通り、米一升ト朝日一箇ト同ジ値段デアアル、又モツト分リ易ク申シマス、今日三圓五十錢取ツテ居ル労働者ハ、二合三勺ノ配給トシタ場合ニ、十二日働クト一

年分ノ米代ガ出來ル、此ノ事實ヲ唯事實トシテ聽イテ戴クダケデハ物足ラナイノデアリマシテ、現實ニ之ヲ本當ニ深く掘下ゲテ、胸ニ手ヲ當テテ御研究ヲ願ヒタイノデアリマス、農林大臣ハ此ノ現實ヲ一體ドウ見テ居ラレカ、或ル政府ノ高官ニ、私ガ、農村ハ此ノ米ノ問題ヲ一番解決シテ戴キタイト云ウテ絶叫シテ居ルト申シマシタラ、其ノ高官ハ、農村ハ景氣ガ宜イデアリマセヌカ、ト斯ウ私ニ申シマス、是ハ農村ヲ見ルコト餘リニ不認識デアリマシテ、ソレハ都市附近ニ於ケル農村、或ハ立體農業ヲヤツテ居ル農村デアル場合ニ於テハサウカモ分リマセヌケレドモ、米作ノミノ農業村ト云フコトヲ考ヘ、又主要食糧ノ増産ト云フコトヲ考ヘタ場合ニ於テハ、此ノ立體農業村ト純然タル米麥農業村トヲ混淆シテ見方ヲ以テ見ラレルヤウナコトデアルト致シマシタナラバ、ソコニ非常ナ危險性ガ伴ツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、減多ニナイコトデアリマスガ、日本ガ本當ニ戦ニ負ケタ最後の反撃デモシナケレバナナイ時デアリマスナラバ、勿論總テノモノノ採算モ、不合理モ決シテ言フモノデハアリマセヌ、ケレドモ今日ノ食糧問題ニシタ所デ、又經濟問題ニ致シマシタ所デ、ヤリ方ニ依リマスナラバ尙ホ、綽々タル餘裕ヲ持ツテ居ルモノデアルト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、決シテ行詰ツテ居ルノデアリマセヌ、食糧問題ニ致シマシテモ、經濟問題ニ致シマシテモ、斷然行詰ツテ居ナイノデアリマス、餘裕綽々タルモノヲ私共ハ認メテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ大臣ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレカ御聽キシテ置キタイノデアリ

マス、又此ノ際我ガ國ニ於ケル純然タル米麥、モツト單純ニ申シマスナラバ、米ダケヲ作ツテ居ル農村ハ全國デドレ程ノ率ニナツテ居ルカト云フコトモ一寸承ツテ置キタイノデアリマス、次ニ米價ノ問題ヲ申上ゲマス、農林大臣ハ二重價格ト云フコトヲ仰ツシヤラレルノデアリマス、私ハ二重價格ト、米價ヲ上ゲルコトハ、一體結果論ニ於テドウ違フノカ、此ノ點少シク分ラナイノデアリマス、昨日ノ或ル方ノ御質問ニ對シテ、食糧管理法ヲ一度讀ンデ見ロト云フヤウナ御答辯モアツタヤウデアリマスケレドモ、米價ヲ釣上ゲルト云フコト二重價格ト云フコトハ、モウ殆ド紙一重ノ違ヒデアリマシテ、詰リソレハ米價釣上ゲノ前提デアツテ、必ズサウ云フ風ニ進マナケレバナナイ時期ガ事實ニ於テ近クニアアルノデハナイカ、斯ウ私ハ思フノデアリマス、不徹底ナ方法ヲ以テ一時逃レ——ト申シマスト御立腹ニナルカモ知レマセヌケレドモ不徹底ナ政策ヲ以テ米價釣上ゲニ煙幕ヲ被セルヤウナヤリ方ガ、却テ此ノ問題ヲ紛糾セシムルモノデナイカト思ヒマス、又諸物價ハ總テ其ノ時々ニ順應シテ適正ナ物價ニ上昇シツアルノデアリマス、然ルニ今日ハモウ米ダケデアル、米ダケハ孤立無援ニ陥ツテ居リマス、二重價格——言ヒ換ヘマスレバ、此ノ孤立無援ニ陥ツタル米價問題ニハモウ飛行機デ食糧投下位デハ中々ヤリ切レナイノデアリマシテ、此ノヤウナ政策ヲヤツテ居ル場合ニ於テハ、何時カハ斷末魔ニ陥ルコトガナイノデナカラウカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、政府ハ之ヲ何時マデモ續ケル自信ガアルノデアリマスカ、私ハ政府ガ自信ガアツテモ現實ハ之ヲ覆ヘ

ス時ガ極メテ近クニアルト思フノデアリマスガ、農林大臣ノ度々ノ聲明ヲ、更ニ御聲明ヲ願フヤウデ洵ニ濟ミマセヌガ、ハツキリト御所見ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、尤モ此ノ際附言ヲシテ置キマスガ、私斯ウ申シタカラトテ、前申シマシタヤウニ、飽クマデモ反對スル積リデ此ノ質問ヲスルノデハアリマセヌ、過去ノ政治機構ノ下デアリマシナラバ、反對スベキモノハ斷然ト反對スル——サウシテ聽イテ貫ヘナケレバ更ニ斷然ト反對スルノガ吾々政治家ノ心持デアツタカモ分リマセヌケレドモ、今日ハソレハ國家ノ全速力進行ノ爲ニ不利デアルト云フコトハチヤント分ツテ居ルノデアリマス、私ノ申上ゲルコトガ正シクアツテモ、時勢ガ私ノ議論ニ勝タセナイ場合ニハ、私ハ之ニ服從致シマシテ、ソシテ却テ其ノ反對デアルト思ツテ居ツテモ、政府ノ政策ヲ助ケルニ咨カデナイノデアリマス、ダカラ私ハ、私ノ信念ノ爲ニ、諄イヤウデアリマスケレドモ、或ル時期マデハ政策ノ爲ニ闘フノデアリマス、サウシテ反省ヲ求メルノデアリマス、例ヘバ私ハ此處デ農林大臣ト闘フノデアリマス、併シ地方ヘ歸リマスレバ、農林大臣ノ代辯人ニナルカモ分リマセヌ、大臣モ本當ニ吾々ノ議論ヲ正シト感心サレマシタナラバ、私共議論ニ頭ヲ下ゲテ呉レテモ宜イノデアリマス、ソレガオヒニ 陛下ノ御爲メ、國ノ爲ニ仕ヘ奉ル所以デアアル、今ハ責任ヲ呼ハリスル時デアリマセヌ、責任ハ政府モ議會モ共同ノ時デアルト私ハ思ヒマス、ドウカ議會人ノ言論ニ深重ナ敬意ヲ表シテ欲イノデアリマス、喧嘩デハ勿論アリマセヌ、ソコデ低物價政策ノ再檢討ヲ私ハ望ム者デアリマス、支那事變ノ目的ハ半

分既ニ達成セラレタモノデアルト私ハ思ツテ居リマス、ナゼカト申シマス、ソレハ東亞ニ於ケル英米勢力ヲ一掃シタコトニ依リマシテ、支那事變ハ半分達成サレマシタ、此ノ支那事變ノ達成シタ時ニ、低物價政策ノ目的モ同ジク之ニ依ツテ半分達成セラレタモノト私ハ見做シテ宜カラウト思フノデアリマス、併シ支那事變ハ御承知ノ通り大東亞戰ニ發展シタ如ク、低物價政策モ是同ジヤウニ、之ニ順應シテ、低物價政策ハ低物價政策ナリニ異動發展ヲ要スルノデアルト私ハ確信ヲ持ツテ居ルノデアリマス、即チ適正ナル所ノ低物價政策デナケレバイケナイノデアリマシテ、支那事變勃發當時ニ出來タ低物價政策ヲ、其ノ儘釘付ケニシテ何時マデモヤツテ行クト云フナラバ、ソコニ政策ノ進歩ト云フモノハナイト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘサセラレテ居ルノデアリマス、低物價政策ハ進歩性ヲ持チタル所ノ順應物價政策ニシナケレバナナイト思フノデアリマス、東亞圈ハ擴大強化サレマシテ敵産ダケデモ、此ノ間ノ新聞ヲ見マス、五百億圓ニ垂ンタルモノガアルト云フコトデアリマス、而シテ山ニモ地ニモ海ニモ資源ハ無盡藏ニアアル、是ト低物價政策トヲ睨合セナケレバナナイノデアリマシテ、低物價政策ハ物ト金トノ「バランス」ヲ取リナガラ進ンデ行キサヘスレバ、ソレデ結構デアルト私ハ思フノデアリマス、低物價デアツテモ、積極進取ノ低物價政策ノ積極性ガナケレバイケナイノデアリマシテ、低物價ヲ釘付ケニセンガ爲ニ、二重價格或ハ補助金制度ガ生レテ居ツテハ、本當ニハツキリトシタ明朗ナ確信アル經濟政策ハ成立タナイト思フノデアリマス、大體補助トカ云フ

モノニ依ツテ政策ヲヤツテ行クト云フコトハ、極メテ不徹底ナルモノデアリマシテ、生産ニ對スル補助ハ、生産上ノ、詰リ刺身ノツマミタイナモノデアリマシテ、ナクテモ生産ハ出來ルノデアリマス、生産ガ増強スルトカ低減スルトカ、是ハ補助ニ依ツテ増減スルモノデハナイノデアリマシテ、ソレハ刺身デ申スナラバ、ツマミ位ノモノ、ケン位ノモノデアルト私ハ思フノデアリマス、其ノ點ニ於テ根本問題ヲ解決スルモノデハナイト思フノデアリマスガ、之ニ對スル農林大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

次ニ木炭増産ト米ノ配給ノ關係デアリマスガ、米ノ配給ガ餘リニ少イ爲ニ、木炭製造業者ハ一月ノ中二十日働イテ十日休ンデ居ルト云フヤウナ實際狀態デアリマス、此ノ間下ナカガ仰シヤツタ中ニ、産婦ガ乳ガ出ナイト云フヤウナ話モアリマシタガ、此ノ事實モ私ハ知ツテ居リマス、斯ウ云フヤウナ米ノ配給ノヤリ方デ、木炭増産ヲセヨト言ウテモ労働者ハ逆モ出來ナイト思フノデアリマス、出來ナイ筈デアリマス、ソレヲ政府ハ出來ルト思ツテ居ルノデアルカ、ドウ云フ信念ヲ持ツテ居ラレルノデアルカト云フコトヲ簡單ニ承ツテ置キタイノデアリマス

次ニ製絲工場ノ釜ノ遊ンデ居ルノヲ、他ノ工業ヘ充當スル方法ハナイカ、又サウ云フ御意思ナキヤト云フコトヲ聽キタイノデアリマス

次ニハ政府ノ息ノ掛ツタ新シイ會社、其ノ他各種團體ノ首腦者ノ中ニ、經濟違反其ノ他法律上有罪ノ人ガ相當居ルト思ヒマスガ、サウ云フ人ハ、此ノ最モ大切ナル所ノ經濟ノ方針中ニ、之ヲ妨ガタ實績ヲ持ツテ

居ル人デアル以上ハ、此ノ人ニ經濟ヲヤラスト云フコトハ、盜人ニ錠前ヲ持タスト同ジコトデアルト思フ、サウ云フ人ハ少クトモ三年トカ五年トカト云フ間ヲ切ツテ、此ノ間ダケハ責任の一手ヲ引カシメルト云フヤウナ御意思ガナイノデアリマスガ、今日統制經濟ノ紛糾シテ居ルト云フコトハ、機構ガ惡イトカ良イト云フ問題デハナイノデアリマス、此ノ統制機構、經濟機構ヲ掌ル人ガ、本當ニ時局ヲ認識シテ、上手ニヤルカヤラヌカニ依ツテ、少々政府ノ作ツタ機構ガ下手デアツテモ、其ノ人ガ親切ニ上手ニヤリサヘスレバ解決出來ル、經濟狀態ガ紛糾ニ陥リ、食糧問題ガ殆ド紛糾シテ居ルト云フノハ人ニアル、是ハ總理大臣モ言ウテ居ルノデアリマスガ、此ノ意味ニ於キマシテ此ノ會社或ハ團體ノ首腦者ノ有罪ト決定シタ人、罪ヲ犯シタ人ハ、或ル一定ノ期間手ヲ引イテ貰フ意思アリヤ否ヤト云フコトヲ承ツテ置キタイノデアリマス

ソレカラ一寸關聯シテ、農業團體法ノ第八條ト水産業團體法ノ第九條トハ、農業者トハドウ云フモノデアルカ、漁業者トハドウ云フモノデアルカト云フ其ノ目的ヲ示シテ居ルモノデアリマスガ、農業團體ノ方ニハサウ云フコトハ書イテナイノデアリマスケレドモ、水産業團體法ノ第九條ニハ「營利ノ目的ヲ以テ」云々ト云フコトヲ示シテアルノデアリマス、農業團體法ノ方ニ營利ノ目的ヲ以テ農耕スルトカドウトカ言ハズニ、水産業團體法ノ方ニノミ、營利ノ目的ヲ以テ漁リヲスルコトヲ業トスルトカ云フ此ノ御考ヘハドウ云フ所ニ根據ガアルノカ、承ツテ置キタイノデアリマス、今日ノ此ノ時局ニ於キマシテハ、營利ヲ目的トスルト云フ業務

ハ、私ハ疾ニ消エ去ツテ居ルノデハナカラ、ウカト思フ、是ハ日本精神カラ割出シテ重大ナコトデアリマス、自由經濟時代ナラバ利益ヲ得ンガ爲ニ働クノデアリマスガ、今日ハ働ク爲ニ利益ヲ得ルノデアリマス、是ダケ違フ、利益ヲ得ンガ爲ニ働クノト、働クカラ利益ヲ得サセテ貰フノト、此ノ心持ハ日本精神ノドチラヲ決スルモノカ、岐路ニ立ツテ居ルノデアリマス、政府ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○井野國務大臣 濱地君ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、先ヅ第一ノ地方ノ事情ニ私自ラ能ク精通シ、又事務當局ヲシテ斷エズ注意セシムルコトノ必要ナコトハ御説ノ通りデアリマス、先般山村ノ米ノ問題モ、御手紙ヲ戴キマシテ、直グ事務當局ニ調査スルヤウニ、ソレヲ移シマシタ、サウシテ大體農林省トシマシテハ、各山村或ハ各方面ノ個々ノモノノ一々ノ施策ト云フコトハ中々困難デ、是ハ府縣廳ガ主トシテ當ツテ居ルノデアリマスカラ、府縣廳ノ方ヘサウ云ツタコトハ移スノデアリマスケレドモ、大體山村ニ於ケル食糧事情ニ付キマシテハ、全國的ニ農林省トシマシテ木炭、木材ノ生産ニ當ル者ニ對スル米ノ増配ヲ一律的ニ決定致シタノデアリマス、隨テ其ノ方針ノ下ニ、縣ニ於テ適切ナル措置ヲ講ジテ居ルモノト考ヘテ居リマシテ、濱地君ノ御手紙ヲ戴イタ時ニハ、マダ其ノ方針ガ決定シテナイ前デアリマス、其ノ後決定致シマシタカラ、是ハ實施ガ出來テ居ルコトト思フノデアリマス、又地方ヘ參リマシタ際ニ、私自身ハ中實情ガ分ラヌト云フ御話、是モサウ云フ點モアリマセウ、併シ私モ地方デ色々聞イタ話ヲ其ノ儘ニ必ズシモ受容レナイ場合モ

アリマス、本省ヘ歸ツテ來マシテ、色々ノ統計等モ見、又其ノ後ノ他カラノ御話ヲ伺ツテ、適切ナル行政運営ヲ致シテ居ル積リデアリマシテ、決シテ其ノ場デ聞イタコトダケヲ信ズルト云フモノデモナイノデアリマス、農地開發營團ノ色々ノ仕事ニ付キマシテ色々聞イテ居リマシテ、適當ナル指導ヲ致シテ居ル譯デアリマス、斯ウ云ツタ譯デ、勿論農山村ノ實情ニ付キマシテハ、出來ルダケ把握スルヤウニ努メテ居リマスガ、尙ホ各地方ノ民意ヲ代表サレル代議士諸君ガ、色々ノ問題ヲ聞イテ戴イテ、直接御教ヘ戴ケバ、必ズソレニ對スル適切ナル措置ヲ私ハ講ジテ參リタイト思フノデアリマス

米價問題ハ度々色々ノ話モアリ、私モ率直ニ私ノ意見ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、此ノ問題ニ觸レルト機嫌ガ惡イトカ云フ話デアリマシタガ、決シテソノコトハナイノデ、私自身ガ非常ニ此ノ問題ハ重大ニ考ヘテ、色々研究モ致シ、善處ヲ致サント考ヘテ居ルノデアリマス、唯御話ノヤウニ煙草ト比ベテ見テドウト云フ御話デアリマスガ、煙草トカ或ハ酒トカ云フモノハ價格ノ構成ガ殆ド税金デアリマス、決シテ一般ノ物價トシテノ價格ノ構成ヲ持ツテ居ラナイ、今煙草ヲ——例ヘバ櫻ハ四十五錢デアリマスガ、私共モ喫ツテ居リマスガ、國ニ税金ヲ納メル積リデ喫ツテ居ルノデアリマス、是ハ決シテ高イトカ安イトカト云フノデハナイ、煙草ト米ト比較ニハナラナイト思フノデアリマス、併シ勞銀等ノ問題ニ於キマシテモ、労働者ガ、或ハ自由労働者或ハ傭山、工場ノ労働者ガ數日間デ働ク代金デ、一年分ノ米ノ代金ガ拂ヘルト云フコト、是ハ私ハ國民ノ生活必需品ヲ安

クシテ置クト云フコトハ必要デハナカラウ
カト思ヒマス、之ヲ徒ラニ高ク致シマスレ
バ、ソコニ又社會不安ヲ生ズルノデアリマ
スカラ、現在ノサウ云ツタ政策ハ是認セラレ
ルノデアリマシテ、唯生産者ガ其ノ爲ニ非
常ナ不利ヲ蒙ルト云フ場合ニハ、是ハ其ノ
方面ニ對シテ色々ノ適切ナル施設ヲ致シテ
行クコトガ結局宜イノデハナカラウカ、今
日マデ勞賃ヲ比較シテ勞銀ガ工場、鑛山ノ
勞務者ハ仕合セデアリ、農民ガ不仕合セデ
アルト考ヘテ居ル者ハ私ハナイト存ジマス、
各々ガ其ノ分ニ安ンジテ其ノ仕事ニ盡スコ
トガ、今日國家ニ對スル御奉公デアリ、ソ
レガ又最モ幸福ナノデアリマス、農民ニ宜
イ所モアレバ、又工場、鑛山ノ勞務者ニモ
宜イ所ガアル、各宜イ所ダケ見合ツテ、羨
マシガツテ居ツテハ今日ノ國民總力ノ結集
ハ出來ナイノデアリマス、又オヒニ苦シ
イ所モアルノデアリマシテ、土ニ親シミ食
糧増産ニ勵ム農民ト、狭イ工場、鑛山ノ中
デ働ク勞務者ト、何レガ仕合セカト云フコ
トハ、其ノ境遇々々ノ觀點ニ依ツテ考ヘテ
行カナケレバナラスト思ヒマス、デアリマ
スカラ勞賃ト米價ダケヲ比較シテ、唯其ノ
何レガ幸福デアルカト云フコトハ、判斷シ
得ナイモノト考ヘテ居リマス、結局米價ノ問
題ニ付テハ低物價政策ヲ堅持シナケレバナ
ラヌ爲ニ二重價格制度ヲ採ツタノデアリマ
スガ、其ノ低物價政策モ今日ハ是正シテ宜
イデヤナイカト云フ御議論デアリマスガ、
今我が國ノ物價ガ、勿論閣下カ其ノ他色々
ナ事態ハアリマスケレドモ、全般的ニ見テ
安定致シテ居リマスル狀態ハ、政府ガ支那
事變以來採ツテ參リマシタ物價政策ガ成功
シテ居ルカラデアルト思フノデアリマス、

隨テ國民全般モ今日ノ低物價政策ニ安心感
ヲ持ツテ居リマス、是ガ一角カラ崩レテ、
低物價政策ノ安定感ガ崩レテ參リマス、
是ハ由々シイ大事デアリマス、一角ガ破レ
レバ、總テ抑ヘラレテ居ル時期デアリマス
カラソコニ大キナ動搖ヲ生ジマス、隨テ今
日ノ經濟界ニ波瀾ヲ生ズルコトニナリマス
カラ、此ノ行キ方ハ政府トシテハ今日ノ方
針トシテ堅持致サナケレバナラヌ、即チ鐵
石炭或ハ米麥ト云フヤウナ主要食糧ニ付キ
マシテハ、價格ヲ引上ゲナイ、二重價格制
度ヲ行クト云フ政府ノ現在ノ方針ハ當分ハ堅
持シテ行クコトト私共モ信ジテ居ルノデア
リマス、隨テ所謂獎勵金其ノ他ノ制度ニ依
リマシテ、生産者ノ生産費ヲ補償シテ行ク
行キ方ヲ取ツテ行ク、是ハ今此處デ濱地君
ト低物價論ヲ議論致シマシテモ仕方ガナイ
ノデアリマス、政府トシテハサウ云フ方針
デ進ンデ居リマスノデ、左様御諒承願ヒタ
イノデアリマス

最後ニ細カイ問題ヲ三ツ程御舉ゲナリ
マシタガ、炭ノ生産ノ爲ノ米ノ増配ハ、先
程申上ゲマシタ通り一合乃至一合五勺ノ増
配ヲ致シタノデアリマシテ、是ハ報國手帳
ヲ持タシテ置キマシテ、ソレニ基イテ増配
ヲ致シテ居リマスカラ、其ノ點ハ御諒承願
ヒタイト思ヒマス、又製絲工場ノ設備ノ流
用モ、今日ハ工場ガ不足シテ居ル時代デア
リマスカラ、餘剩設備ガアレバ之ニ出スコ
トハ當然デアリマシテ、今回政府ガ幹旋ノ
下ニ各製絲業者ガ一團トナツテノ整理統合
ヲ致サントシテ居ル動機ナリ目的モ其處ニ
アルノデアリマス、今回ノ合同ガ成リマス
レバ各方面ニ相當ノ餘剩設備ガ出テ參リマ
スカラ、ソレハ他ノ重要産業ニ轉用致シテ

參リタイト考ヘテ居リマスソレカラ國策會
社ノ重役ガ經濟事犯ヲシタ場合ニドウカト
云フ御話ガアリマシタガ、政府ガ認可ヲ致
シマス國策會社若シクハ之ニ準ズル役員ニ
付テハ、經濟事犯ガアル場合ニハ其ノ違反
ノ程度、性質ニモ依リマスケレドモ、惡質
ノモノニ付テハ認可ヲ致シマセヌ、ナツテ
カラ致シタ場合ハドウカト云フ問題モアリ
マスガ、サウ云フ場合ニハ出來ルダケ退イ
テ貰フト云フ方針ヲ採ツテ居リス
ソレカラ水産ノコトモ、必要ガアレバ
局長カラ御話シテモ宜イト思ツテ居リマス
ガ、「營利ヲ營ム目的ヲ以テ」ト云フノハ漁
業者ガ營業者デアルト云フコトヲ意味シテ
居ルノデアリマス、釣ヲスルノモノツノ漁
業デアリマスガ、サウ云フモノマデ團體法
ノ目的ニシテ居ナイト云フコトヲ明カニシ
テ居ルダケデ、今此ノ規定ヲ置イタカラ減
私奉公ノ、所謂利潤追求ノ觀念ヲ離レテ仕
事ニ從事シテ居ル水産業者ノ氣持ヲ害スル
ト云フモノデハナク、是ハ唯法文上ノ一ツ
ノ「テクニク」デアリマスカラ、左様御諒
承願ヒタイト思ヒマス

○濱地委員 税金ヲ納メル爲ニ煙草ヲ吸フ
ト仰シタルケレドモ、是ハ言葉尻ヲ捉ヘテ
失禮デスガ、ソレナラバ煙草ヲ吸ハヌデモ
獻金ヲシタラ宜イト云フコトニナリマス、
農村ノ幸福トカ云フ問題ニ對シテノ御意見
ニハ私モ實際ハ賛成シテ居ルノデアリマス、
詰リ餘計月給ヲ取ツテ居ル人ハ愉快デア
ルケレドモ幸福デナイ場合モアルデセウ、農
村ガ安過ギル米ヲ作ツテ居ツテ愉快デナク
テモ幸福デアル場合モアルダラウト思フ、併
シ價格ノ差額ガ餘リニ大キ過ギルト云フコ
トハ程度問題デヤナイカト思フ、米ガ一番安

クデモ宜イト思ヒマス、今日農民ハ米ヲ作
ル誇及ビ認識、哲學觀ハ持つテ居ルダラウ
ト思ヒマス、ダカラ一番安クテモ宜イガ、
餘リ安過ギルト云フコトハドウカト云フコ
トヲ申上ゲルダケデアリマシテ、是レ以上
ノ議論ハ申上ゲマセヌ

○池田(正)委員 只今ノ大臣ノ御答辯ノ中
ニ農業團體、統制會社ノ理事者ガ經濟事犯
ヲ犯シタ場合ニ、是ハ成ベク退ケルト云フ
御言葉ガアツタノデアリマスケレドモ、是
ハ極メテ重大ナ問題デアリマスカラ、私ハ
實ハ外ノ問題ト關聯シテ質問シタイト思ツ
テ居ツタノデアリマスケレドモ、今出マシ
タカラ此ノ點ダケヲハツキリシテ置キタイ、
私ニ言ハセレバ、例ヘバ成績ノ上ラヌモノ
ハ積極的ニ農林省ガ監督權ヲ以テ辭メサス
ト云フ所マデ行カナケレバイカヌ問題ダト
思ヒマス、然ルニ今ノ御言葉デハ經濟事犯
ヲ犯シタ者デアツテモ、成ベク退イテ貰フ
ト云フヤウナ不徹底ナ態度デハ、是カラモ
サウ云ツタ團體ヲ監督シテ行ク上ニ於テ極
メテ不徹底デアリ、結果ニ於テ極メテ面白
クナイコトダト思ヒマス、此ノ點ニ關シテ
大臣カラモウ少シ積極的ナ明確ナ態度ヲハ
ツキリサセテ、戴キタイト思ヒマス

○井野國務大臣 經濟違反ニモ色々ナ事態
ガアルノデアリマシテ、自分ガ惡質デナイ
場合ニ引ツ掛ル事例モアリマス、私共色々
ノ例ヲ知ツテ居リマス、サウ云ツタ場合ニ
其ノ人が非常ナル有能ナ人デ、僅カニ過失
ノ爲ニ其ノ團體ヲ退ケルトニ於テ、却ツテ
團體ノ運営ガ拙クナル場合モアリマスカラ、
是等ハ具體的ノ事犯ニ臨ミマシテ、實際ハ
サウ云フ人ヲソコニ使ツテ置クコトガイカ
スト云フ場合ハ、是ハ吾々トシテモ出來ル

ダケ——出來ルダケト云フコトハ結局法制上強制的ニ退カセルト云フコトハ出來マセヌカラ、吾々ノ指導方針ノ下ニ於テ退イテ貰フ、斯ウ考ヘテ居リマス。

○池田(正)委員 只今ノ御答辯モ極メテ事務的ナ御答辯デアリマスガ、私ハ先程一寸申上ダタヤウニ、成程法律的ニ經濟事犯ヲ犯シテモ、其ノ性質ニ依ツテハ必ズシモ辭メサセナクテモ宜イ場合モアル、是ハ私必ズシモ否定スルモノデハアリマセヌ、唯モウ一步進シテ、例ヘバ天降リ的ニ役人上リヤ、代議士ノ參與ガ居ラレマスガ、便々トシテ理事長ナリ理事者ニナツテ納マツテ居ツテ、毎日下ラヌ判コヲ捺シテ高給ヲ食シ居ル、而モ例ヘバ木炭ガ出ナイ、米ガ出ナイ、何ダ彼ダト云ツテ關聯事項ニ關シテ社會カラ全面的ナ指揮ヲ受ケテ居ルニモ拘ラズ、依然トシテ月給ダケ貰ツテ居ルヤウナ人間ヲ吾々ハ現實ニ見テ居ル、之ヲアナタハドウナサルカト、斯ウ云フノデス、ソレヲ默ツテ居ツテ碌ニ指導モシナイ、監督モシナイ、サウシテ經濟事犯ガ起ツテモ成ベクナラバ退イテ貰フ、サウ云フ弱イ形デハイカヌデヤナイカ、斯ウ云フノデス、根本趣旨ハ、詰リ經濟事犯ヲ犯シタ者ニ重點ヲ置クノデナクシテ、寧ろ空位ヲ擁シテ徒食シテ高給ヲ食シ居ル人間ガ今日アル、而モ成績ガ上ツテ居ラス、誰カラ見テモ社會カラ糾彈ヲ受ケテ居ルヤウナ人間ガ居ルヤウナ狀態デハ戰爭ハ出來ナイ、今日ノ統制會社ノ一番惡イ點ハソコダと思フ、居ル奴モ居ル奴ダケレドモ、私ハ言葉ガ惡イノデスガ、居ル人間ガ大體怪シカラヌノデス、ドウセサウ云フ奴ハ大體出來ノ惡イ人間ナンデス、ソレヲ監督サツテ居ルアナタ方ダカラ——

農林省關係ニハサウ云フノガ澤山アル筈ナシデスカラ、ソレヲモウ少シ積極的ニ尻ヲ叩イテ、サウシテ成績ガ上ラナケレバ直チニオ前罷メロト言ツテ、別ナ人間ヲ持ツテ來テアルダケノ積極的ナ政策ヲ執ツテ欲シイ、斯ウ云フコトヲ特ニ私ハ農林大臣ニ御願ヒシタイ、之ニ對スル御考ヘヲモツト明確ニ私ハ承リタイと思フ。

○井野國務大臣 濱地君ノ御質問ガ經濟事犯デアリマシタカラ經濟事犯ニ對スル御答ハ別ノ御質問デアリマスカラソレニ對シテハ又私モ別ノ御答ヘヲスル譯デアリマス、要スルニ今日國家ノ機關ニ類スル仕事ヲ致シマス國策會社並ニ之ニ類スル統制會社ハ、國家ノ要請ニ基ク生産ヲ上ダ、配給ノ適正ヲ期スルコトガ重大ナル使命デアアル、之ヲ扱フ人ガ其ノ能力ナク、漫然トシテ居ルト云フ場合ニハ、監督上サウ云フ人ニ退イテ貰フコトハ當然デアリマス、唯農林省ノ關係ニサウ云フ者ガ澤山アルト云フ御話デアリマスガ、私ハサウハ思ツテ居リマセヌ、多少サウ云ツタ氣持ノアツタ人ハ最近ニ於テモ其ノ人ヲ送ヘタ例モアルノデアリマス、ソナニ澤山アルヤウニ私ハチツトモ考ヘテ居ラナイ、皆一生懸命ニヤツテ居ルト信ジテ居リマス。

○東郷委員長 吉植庄亮君

○吉植委員 私ハ本法案ノ中ニモ、又大臣ガ大變力ヲ入レテオイデニナリマス皇國農村確立ト云ツタモノノ中ニモ、當然一番初メニ採リ入レテ置カナケレバナラヌコトガ洩レテ居ルト思ヒマスノデ、其ノ點ニ付テ御尋ネシタイと思ヒマス、ソレハ外デモアリマセヌ、日本ニハ農業ヲ營シテ居リマセヌ

デ職業ニ於テ農業ト云フ稱號ヲ貰ツテ居リマス地主階級ガアリマス、此ノ地主階級ハ今日生産カラ全然遊離シテ居リマス、是ガ古來カラ村ニ於ケル指導者デアリマス、又教育ノ程度ニ於キマシテ村民ノ中デ惠マレタル階級ニ屬シテ居リマス、知能ニ於テ、學問ニ於テ、財力ニ於テ一村ヲ率ユル階級デゴザイマス、然ルニ生産ヨリ遊離致シマシテ、米一粒麥一粒作りマセヌデ、國家ハ農業ト云フ職業ヲ與ヘテ居リマス、此ノコトガ今日ノ農村問題或ハ食糧増産ト云フ大キナル問題ニ一ツノ大キナ支障ヲ來シテ居ル場面ガ屢、出テ來ルノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ何等積極的ナル政治ヲ行ハフトスル片鱗モ出デ居ラナイノデアリマス、其ノ一ツノ證據ト致シマシテ、先日吾々ガ戴キマシタ昭和十二年以降農家ノ數ノ統計デアリマスガ、此ノ農家戸數ノ中ニ自作農、小作人、自作兼小作人ノ三段階ノ區別ガアル、サウシテ是ガ全戸數ニナツテ居ル、ソレハ事業並ニ兼業ノ統計ヲ見マス

ト、昭和十二年ガ五百五十七萬戸、十三年ガ五百五十一萬戸、十四年ガ五百四十九萬戸、十五年ガ五百四十七萬戸、是ガ總數デアリマス、其ノ中ニ更ニソレヲ三ツニ分ケマシテ、自作農、小作農、自作兼小作農トアリ、其ノ三ツヲ合セマスト丁度其ノ戸數ニナツテ來ル、サウシマスニコニコ地主ト云フ階級ガアル筈デアアルノニ、此ノ表ニハ出テ居リマセヌ、即チ地主ヲ單ニ自作農トシテアルノカ、自作兼小作農トシテアルノカ、國家ガ斯様ナ根本ノ誤謬ヲ此ノ表ノ上ニモナシテ居ル、是ガ一ツモ此ノ點ニ關シテ關心ヲ拂ツテ居ラナイ證據ニナルト私ハ思ヒマス、御承知ノ通り、此ノ地主階級

ハ、舊幕時代ニ於キマシテ所謂名主サンヲ初メトシマシテ悉クガ農業ヲヤツテ居リマシタ、明治中葉ニ至ルマデモ、ヤハリ地主階級ハ村長サンデアリマシテモ、戸長サンデアリマシテモ百姓ヲヤツテ居リマシタ、デスカラ此ノ法案ガ明治初年ニ提案ニナツタト致シマスト是デ宜シイ筈デアリマスガ、今日ハサウデナイ、生産カラ遊離シタ地主ガ澤山アルノデアリマス、此ノ地主ノ性格ノ變化、舊幕時代カラ明治初年ニ於テ農民ハ悉ク生産農民デアリ、隨テ地主モ生産農民デアツタ、所ガ此ノ地主ノ性格ガ其ノ後自ラ土地ヲ持ツテ居ツテ田ニ入ルコトヲ恥ヂルト云フ風ニナツテ來マシテ、今日澤山ノ斯ウシタ地主ガ出來タ譯デアリマス、所デ今日ハ中小商業者モ祖先傳來ノ職業ヲ抛ツテ、生産部門ニ參畫セシメルト云フ政治ヲ國家ハ執ツテ居リマシテ、此ノ中小商業階級ニ於テモ時局ヲ認識シテ、政府ノ指導ノ下ニ國ノ歩ミト共ニ歩ンデ居リマス、其ノ中ニ生産業タル農業ノ肩書ヲ持ツテ、而モ生産ニ聊カモ參與シテ居リマセヌ地主ガ澤山居ルト云フコト、是ハ今日ノ政治トシテ何等カ之ニ對シテ考ヘナケレバナラナイ、對策ヲ講ゼバナラヌモノデアルト私ハ考ヘル人デアリマス、斯ウ云フ點ニ關シテ農林大臣ノ御考ヘヲ承リタイと思フノデアリマス。

○井野國務大臣 今日地主ノ方々ガ存在シマシテ、サウシテ我が農業機構ガ形成サレテ居リマスルコトハ、是ハ日本ノ明治以來ノ事實デアリマシテ、此ノ事實ニ基イテ今日ノ農業狀態ヲ、如何ニ改善スルカト云フコトガ、今後ノ農家再編成ノ問題ニナツ

テ來ルノデアリマス、政府ハ地主ノ問題ニ付テ、何モ考ヘナイト云フ御話デアリマスルケレドモ、結局自ラ耕ス者ヲシテ自ラ土地ヲ所有セシムルト云フ原則ニ付テハ、政府モ是非サウ云フ風ニ指導シテ参リタイト云フコトカラ、自作農創設ノ事業ヲ今度ハ擴大強化致サント致シタノデアリマス、此ノコトハ結局此ノ施設ガ旨ク参リマスレバ、地主階級ハ少クナルノデアリマシテ、サウシテ自作農ガ多クナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、見方ガ地主ノ方カラ見ルノト、小作人トシテノ自作ト云フ方カラ見ルノト、兩方ニ依ツテ自ラ意見ハ違フカモ知レマセヌガ、到達スル所ハ一ツデアアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ手段ガドウデアアルカト云フ問題ハ是ハ別デアリマスケレドモ、免モ角地主ノ問題ハサウ云フ點ニ於テ、今回ノ皇國農村確立促進施設、又農業團體法ノ問題ニ付キマシテモ、深ク考慮ヲ致シテ居リマスルコトハ、御諒解願ヘルト思フノデアリマス

○吉植委員 私ハ自作農創定ノ擴大強化ト云フコトニ對シテハ、滿腔ノ敬意ヲ拂ツテ居リ、マダ政府ノヤリ方ガ吾々ノ理想カラ言フト遙カニ小サイ、モウ少シ力ヲ入レテ戴キタイト思フ一人デアリマス、今マデ地主ニナツテ居リマセヌ小作人ヲ免ニ角將來二十五箇年ニ亙ツテ、二百万町歩ノ地主タラシメヨウト云フコトガアル反面ニ、大臣ハ只今地主ニ對シテノ考ヘハナイノデハナイト仰シヤツテ居リマスガ、形ニ於テ既ニ地主トナツテ居リマス者デ、耕作シナイ者ガアル、ソレニ對スル所ノ施設ガ具體的ニ何等ナイ、又法律ノ中ニモ其ノ片鱗モ窺フコトガ出來ナイ、是デハ新タニ地主ヲ澤山

捕ヘヨウト云フ政策ト表裏一體ニナツテ現在地主ニナツテ居リナガラ、耕作シナイ者ヲ捨テテ置クト云フコトデアッテハ、此ノ法ノ完璧ヲ期スルコトハ出來ナイ、私ハ斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、特ニ先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ地主階級ハ資産ニ於キマシテモ、學問ニ於キマシテモ、聰明ノ點ニ於キマシテモ、村ノ指導者タル地位ニ立ツテ居リマス、其ノ指導者タルベキ地位ニ立ツテ居リマスニ拘ラズ、生産ノ方面ハ素人デアアル、斯ウ云フコトガドレ程農村ノ進展ヲ阻害シテ居ルカ、思ヒ半バニ過ギルモノガアルノデアリマス、昔ノ名主サン、或ハ戸長サン、明治ノ初メ、中葉マデノ村長サン、是等ハ悉ク農業ヲヤツテ居リマス、當時ハ農業指導員トカ、技術員ナント云フ者ハ農村ニハアリマセヌ、是等ノ人ガ中心トナツテ、農村ノ技術員マデ兼ネテ農業ヲシテ來タノデアリマス、ソレニ比ベマス、今日其ノ人達ガ生産カラ遊離シテ居ルト云フコトガ、ドレダケ農村ノ進展ヲ阻害シテ居ルカ、農業ノ發達ト云フモノヲ、阻碍ト言フヨリハ寧ロ當然農業ガモツト發達スベキモノヲ發達サセナイデ來タ斯ウ云ツタ事情ニアルト云フコトハ、賢明ナル農林大臣固ヨリ御承知ノ筈デアリマス、今日食糧増産ガ重點問題ノ中ノ對象トナツテ居リマス時ニ、此ノ事ハ私ハ洵ニ大キナ問題ト考ヘマス、内原ニ一萬五千人ノ青年ヲ集メテ、是ガ村ニ歸リマシタ時ニ、食糧増産ノ挺身隊員ト云フヤウナコトモ、洵ニ結構デゴザイマスガ、併シソレ以上大事ナコトハ、地主ノ生産ヘノ還元デゴザイマス、生産ニ還元セシメテ、其ノ村ノ指導者タルベキ地主階級ガ、本當ノ指導者トシテ、只

今ノ所デアリマス、丁度平時ノ何等訓練ノナイ戰ヒヲシタコトノナイ部隊長ガ、兵ヲ率キテ戰ヒヲシテ居ルト云フノガ農村ノ實情デアリマス、其ノ部隊長ヲ實戰ニ參加セシムルト云フコトガ、ドウシテモ私ハ國トシテナサネバナラスコトデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ關シテモウ一度大臣ノ御考ヘヲ承リタイ

○井野國務大臣 只今吉植サンノ御意見ニ依リマス、詰リ地主ニ自ラ耕作セシムルヤウナ措置ヲ執レ、斯ウ云フ御言葉デアルト承ツタノデアリマス、無論是ハ指導的ニハサウ云フコトヲ考ヘラレマスガ、法制ノ中ニソレガ現ハレナイトカ、又豫算ノ施設ノ上ニサウ云フコトガ出テ來ナイト云フコトヲ以テ、政府ハ何等ソレニ考ヘヲ加ヘテ居ナイト云フ風ニ御判斷戴クコトハ、少シ酷デヤナイカト思フノデアリマス、政府モ無論先程申ス通り、土地ヲ持ツ者ハ自ラ其ノ土地ニ於テ耕作ヲスルコトニ指導モ致シ、又サウ云ツタ仕組ニ持ツテ参リタイト云フコトデ、色々ノ施設ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、今ノ地主ノ人々ニ直グソレデハ米ヲ作レ、麥ヲ作レト云フコトヲ申シマシテモ、ソレハ事情ニ依ツテ色々ノ點モアルノデアリマスカラ、必ズソレヲ強制シテヤラセルト云フヤウナコト、私ハ行過ギデハナカラウカト思フノデアリマス、唯不在地主トカサウ云フヤウナ問題ニ付テ別ノ觀點デアリマスケレドモ、今ノ御質問ノ趣旨ガサウ云フ所ニアリトスレバ、私ハヤハリソレハ指導ヲ進ムベキモノデアルト考ヘテ居リマス

○吉植委員 私ハ、地主ハ今申上ゲマシタヤウニ、村ノ指導階級デアリマスカラ、此ノ非常時局ヲ認識シナイ地主ハ一人モナイト思ツテ居リマス、政府ノ水ノ向ケヤウ一ツデ、政府ノ指導一ツデ田圃ニモ入り、畑ニモ入ルト思ヒマス、ソコデ斯ウ云フ質問ヲシテ居ルノデアリマス、此ノ地主階級ガ時局ヲ認識シナイ者デアリマスレバ、中々指導モ難カシイノデアリマスガ、私ハ時局ヲ認識シテ居ルト信ジテ居リマス、併シ斯ウ云フコトヲ時間ノナイ所デ押問答シテモ致シ方アリマセヌカラ、私ガ一ツノ私案ガゴザイマス、此ノ私案ヲ申述ベテ——是ハ大臣ニ御答辯ヲ下サイト云フ譯デハゴザイマセヌガ、斯ウ云フ質疑ヲスル以上、何等カ建設的ナ意見ト云フモノナシニ、空論ダケ投ゲタノデハイケナイト思ヒマシテ、自分ノ考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲル次第デアリマス、此ノ問題ハ明治以來今日マデ、農村問題デ一番早く取上ゲラレネバナラナカツタコトデアツテ、徹底的ニ閑却サレテ來タ、又歴代内閣、ドノ内閣デモ取上ゲラレナカツタ、此ノ議會ニ於テモ餘リ問題ニナラナカツタコトデアリマスカラ、ドウカ今申上ゲルコトニ付テモ御研究ヲ願ヒタリ「ダレー」博士ノ「農民ハ血ト土トノ貴族ナリ」ト言ハレタヤウナ精神ヲ以テ、私ハ政府ガ自作セザル所ノ地主ト、自作スル所ノ地主トニ、何等カ名前ナリ、或ハ待遇ト云フモノヲ二ツニシテ貴ヒタイ、即チ自ラ農業ヲ營ム地主ヲ上位ニ置キ、國家ガ之ニ然ルベキ待遇ヲ與ヘ、又稱號ヲ與ヘル、斯ウ云フヤウニシテ行クコトガ、地主ヲシテ自ラ農業ニ勵シマシメル所ノ一ツノ途ナルモノデゴザイマス、自ラ農業ヲスル地主モ、曾テ農業ヲセザル地主モ、同ジ農業ト云フ稱

號ヲ與ヘ、同ジ地主ト云フ名ヲ以テ呼バレ
テ居ル、此ノ事ガ私ハイケナイノデハナイ
カ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、農業ト
云フモノガ生産業デアル以上ハ、ドウシテ
モ此ノ事ハ當然ナスベキコトデアル、然ル
ニ拘ラズ、小作料ノ米麥ヲ消費シテ居ル單
ナル消費者デアル地主ニ、尊イ農業ト云フ
生産上ノ稱號ヲ與ヘテ居リマス、是ハ私ハ
政治ノ一ツノ誤謬ト存ジマス、之ヲ訂正ス
ル意味ニ於テモ、斯様ナ措置ハ執ラルノ
ガ本當デハナイガラウカト考ヘテ居リマス、
今ノハ精神的ノ話デアリマスガ、モウ一ツ
ハ具體的ノ話デアリマス、私ハ此ノ事ハ食
糧増産問題ニモ關ミ付イタ大事ナコトデア
ルト思ヒ、普段考ヘテ居ルコトデゴザイマ
ス、一ツノ町村ニ於テ、其ノ町村自體ノ試
驗場ヲ拵ヘルト云フヤウナコトヲシテ戴イ
タ宜イデヤナイカ、私ガ開墾ヲ始メテ百
姓ニナリマシタノハ大正十五年デアリマス、
ソレカラ約三年バカリト云フモノハ、開墾
ヲシテハ直グ田植ヲスル、又開墾ヲシテハ
田植ヲスルト云フヤウナ譯デ、私ハ自分ノ
部落ノ方ノ田ヲ見ル進モナカツタノデアリ
マス、四年目ニ一寸病氣ヲシテ暇ガ出來タ
ノデ、部落ノ方ノ田ヲ見テ廻ツタノデアリ
マス、サウ致シマス、ソレマデハ私ノ方
ノ村ハ田植ノ正條植ト云フモノハ殆ドナカ
ツタノデアリマス、見ルト全部正條植ニナ
ツテ居ル、又私ノ農場デハ稻ノ苗ノ先ヲ切
ツテ植エテ居ツタガ、此ノ部落ニ行ツテ見
ルト、稻ノ苗ノ先ヲ切ツテ植エテ居ル田ガ
ザラデアリマス、悉ク私ノ農場デヤツテ居
ル通リノコトヲ部落ガヤツテ居リマシタ、
所デ大臣御承知ノ通り、農民ト云フモノハ
中々自我ノ強メノデアアル、私ガ開墾ヲ始

メテ百姓ニナツテ三年、詰リ尋常三年生ガ
幾ラロ酸ツバクシテ農民ヲ指導シヨウト
シテモ、勿論聽ク筈ガゴザイマセヌ、ソレ
ガ私ガ唯自分ノ農場デ正條植エニシ、苗ノ
先ヲ切ツテ植エテ居ル、サウシマス、田
植、除草、稻刈ニ此ノ部落ノ人達ヲ頼ンデ
此ノ人達ガ之ヲ見テ居リマシテ、自分ノ今
日マデヤツテ居リマシタヤウナ葉ヲ切ラナ
イデ植エル式ヨリモ、收穫ガ遙ニアルト云
フコトヲハツキリ認識スルコトガ出來マシ
テ、私ガ一言彼等ニサウ云フヤウニスルヤ
ウニト云フ指導ヲシタコトガナイニ拘ラ
ズ、殆ド部落全體ガサウナツテ居ルコトヲ
見テ、私ハ實ニ驚イタ、農村指導ノ眞諦ハ
此處ニアルノダ、百ノ理論ヲ以テ指導
スルヨリハ、何人カガ村ノ眞中ニ於テ、政
府ノ農事試驗場或ハ縣ノ農事試驗場、或ハ
全國ノ篤農家ガ行ツタルモノヲ以テ之ヲ實
踐シテ行ク、之ヲ村民ニ見セル、斯ウ云フ
コトノ方ガ、百ノ増産運動ヨリモ遙カニ大
キナ實力ノアルモノデアルナト云フコトヲ
當時沁々感ジ、今日モ感ジテ居ル次第デア
リマス、ソコデ私ガ村ノ眞中ニ其ノ町村ノ
試驗場ヲ拵ヘタラ一番宜イガラウト申スノ
ハ此ノ點デアリマス、此ノ試驗場ヲ拵ヘマ
シテ、ソコニ共同作業場ヲ拵ヘル、或ハ共
同作業ノ農具ヲ購入スル、又牛馬ヲ購入ス
ル、發動機其ノ他ヲ購入スル、斯ウ云フ經
費ハ地主ノ負擔ニ於テスルト云フヤウナコ
トモ一ツノ方法ト考ヘマス、此ノ地主ノ負
擔ニスルト云フコトハ、何人ト雖モ自分ノ
出シタオ金ガドウ使ハレテモ宜シイト云フ
者ハゴザイマセヌ、地主カラ此ノオ金ガ出
テ居リマス、我レ知ラズ地主ハココニ心
ガ惹カレマス、サウシテ地主ガ知能の部面ヲ

受持ツテ、此ノ農場ノ中ノ一員トシテ加ハ
ル、一面資金ヲ支出シ、一面知能の出資者
トシテ此ノ經營ニ參加スル、斯ウ云フヤウ
ニ致シマス、地主ガ自ラニシテ農業ヲ覺エ
テ行キマス、又サウナツテ來マス、村ノ
寄合ニモ上座ニ坐リマシテ、サア此ノ春ノ
肥料ハ、今マデハ窒素燐酸加里ヲ斯様ニ配
合シタガ、此ノ土壤ハ多少酸性デアルカラ
是デハイカスカラ、斯ウ云フヤウニセネバ
相成ラス、今マデハ此ノ村ニ於テハ是レ是
レノ品種ヲ坪當リ何株植エタガ、併シナガ
ラドウモ他ノ試驗ニ依ルト、モウ少シ株數
ヲ殖ヤシタ方ガ宜イト思フガドウカ、ト云
フヤウナ色々ナ問題ガ出テ來マシタ時ニ、
村ノ上座ヲ占メテ指導者ニナツテ居ツテ、
サウ云フコトニ些カモ發言スルコトガ出來
ナイト云フコトニナツテ來マス、此ノ地
主ハドウシテモ自分ノ面目上、農業ヲヤハ
リ研究シテ居ラナケレバナラヌト云フコト
ニモ相成リマス、一面デハ縣ノ試驗場、郡
農會——今度ハ農會ニナリマシタガ、其
ノ指導ヲ受ケル、サウシテ最モ進歩シタル
所ノ新シキ農業ノ體系ヲ採リ入レタ實績ヲ
其ノ村ニ於テ示ス、サウシマス、此處ニ來
テ働イテ居リマス村民ハ、翌年ハ必ズ其ノ
新農法ニ依ルコトハ明カデアアル、其ノ上ニ
地主ガ生産ニ段々參畫シテ行クト云フヤウ
ナ氣構ヘニナツテ來マス、サウシテ農村ノ
地主サンアタリモ身體ハ健康デゴザイマス
シ、大體勞働ヲ致シ來ツタ所ノ子孫デゴザ
イマスカラ、土ニ働クト云フコトハ都會人
ト違ツテ、遙カニ親シミヲ感ズルノデゴザ
イマス、今日オ米屋サンデサヘモ滿洲ニ行
ツテ、立派ナ百姓ニナツテ居ル世ノ中デア
リマスカラ、地主サンガ一度田圃ニ入ツテ

農業ヲスル、生々育々ノ樂シミト云フコト
ヲ體驗シテ來ル、自ラニシテ農業道ヲ悟ル、
斯ウ云フ風ニナツテ來マス、一石二鳥ト
私ハ考ヘルノデアリマス、斯様ナコトニ對
シテハ私ノ一私案デゴザイマスガ、農林
省邊リニ於テモ、少シ具體的ニ案ヲ御立テ
下スツテ、一面ハ此ノ地主階級ヲシテ生産
ニ參與セシメ、眞ノ農村ノ指導者ヲラシメ
テ、一面ニ於テハ政府ノ増産計畫ナラ計畫
ト云フモノヲ、直チニ村民ニ一言ニシテ實
行シ得ルヤウニ仕向ケテ行ク、ト云フヤウ
ナコトヲシテ戴キタイ、之ニ對シ御考ヘデ
モ、御洩ラシ願ヘレバ幸ヒデアリマス
○井野國務大臣 只今古植君ノ色々ノ御意
見、農林省トシマシテモ別ニソレニ對シテ
今具體案ヲ持ツテ居リマセヌガ、唯御考ヘ
ノ中デ、地主ノ階級ヲ自ラ耕作スルモノト
セザルモノトデ上下ノ區別ヲ付ケテ、其ノ
待遇等モ變ヘテ行クト云フ御話、ハ併シ
私ハ必ズシモ自ラ耕作スル地主ガ優良デア
リ、セザル地主ガ優良デナイト云フコトヲ
斷定致シマスコトハ適當デナイト思フノデ
アリマス、地主トシマシテモ、單ニ耕作ス
ルコト以外ニ、非常ニ大キナ責務ヲ持ツテ
居ルノデアリマシテ、即チ増産ノ爲ノ耕地
改良ト云フコトニ、地主トシテハ出來ルダ
ケ努力シテ貫ヒタイト思フノデアリマス、
其ノ爲ニ非常ナ良イ仕事ヲシテ、小作人ト
ノ間ニモ極メテ圓滿ナル關係ヲ結ンデ居ル
地主デアリマスレバ、假ニ自ラ耕作シマセ
ヌデモ、私ハ優良ナル地主デアルト思フノ
デアリマス、自ラ耕作シマシテモ、殆ド土
地ノ改良モセズ、小作人トノ間ニモ絶エズ
色々ノ紛糾ガ生ジテ居ルト云フ地主デアリ
マスレバ、寧ロ先程申シタ地主ヨリハ優良

デナイト云フ風ニ見ナケレバナラスト思ヒ
マスカラ、單ニ耕作スルヤ否ヤニ依ツテ其
ノ順位ヲ變ヘルト云フ行キ方ハ、餘程研究
ヲシナケレバナラスト問題デハナカラウカ、
殊ニ地主ガ自ラ耕作スルト云フコトハ結構
ナコトデアリマスケレドモ、若シモ其ノ地
主ノ持つテ居ル耕地ヲ全部ノ小作人ガ耕作
シテ居ル、自ラ耕ヤス爲ニ小作人ノ土地ヲ
返還セシムルト云フコトニナツテ参リマスル
ト、ソコニ又一ツノ小作爭議ヲ誘發シテ居
ル例モアルノデアリマシテ、之ヲ無理ニス
ルト云フコトニナリマスド、ソコニ却テ小
作關係等ニモ色々ノ支障ヲ生ジマスカラ、
農林省トシマシテハ、例ヘバ小作地ノ返還
ガアツタ、サウ云フ地ヲ不毛ノ地ニシテ置
クヨリハ、地主自ラ耕ヤスト云フコトデア
リマスレバ、是ハ非常ニ私ハ指導ノ上ニ於
テモ適切デアルト考ヘテ居リマスカラ、
唯概念的ナコトデ之ヲ判斷シテ参リマスヨ
リハ、實際ノ場合ニ即シタ一ツノ指導方針
トシテ之ヲ導イテ行クコトノ方ガ、適切デ
ハナカラウカト思フノデアリマス、又町村或
ハ部落ノ中ニ、一種ノ指導農園ト云フヤウ
ナモノヲ設ケテ、ソレヲ地主ガ負擔シテ行ク
ト云フコトモ、一ツノ御考ヘデアリマス、併シ
サウ云ツタ指導農園ヲ作ル耕地ガ必ズアル
トモ限ツテ居リマセヌ、又ソレヲ作ル爲ニ
小作爭議ヲ起スヤウナコトモ生ジテ参リマ
スルシ、結局ハヤハリサウ云ツタ技術指導
ナリ、或ハ實地ノ模範ヲ見セテ農民ヲ引張
ツテ行クト云フ行キ方ハ、是ハ唯私ハ地主
ダケノ仕事デナクシテ農業團體モソレニ當
リ、又村ノ篤農家モ自ラノ經營方法ヲ能ク
ノ方ニ指導シテ行クト云フコトノ方ガ、

實際的デハナイカト考ヘテ居リマス、併シ
吉植サンノ御意見ハ實際ノ自己ノ經驗ニ基
イテノ御意見デアリマシテ、吾々モ常ニア
ナタノ御意見ハ尊重シテ居ルノデアリマス
ケレドモ、斯ウ云フ問題ニ付テハ十分ヤハ
リ農林省トシマシテモ、色々ノ觀點カラ考
ヘテ見マセヌト、此處デ俄カニソレハ宜シ
イ、サウ云フヤウナ氣持デ進マウト云フ風
ニハ、マダ申上ダラレナイ事態デアルト存
ズルノデアリマス
○東郷委員長 吉植君ノ質問ハマダアリマ
スカ
○吉植委員 アト文部省、厚生省、企畫院
等ニ出テ戴イテ、農林當局ノオイデノ所デ
御尋ネシタイト思ヒマスガ、今日ハ是デ打
切ツテ、アト保留サシテ戴キマス
○加藤(知)委員 私モ濱地委員ノ質問ニ關
聯シテ是非御伺ヒシタイト思ヒマスガ、明
日デモオヤリニナルト云フコトデアレバ、
其ノ際ニ伺ハセテ戴キタイト思ヒマス
○東郷委員長 土屋サンノ御質問ハ此ノ間
カラ保留サレテ居リマスカラ、此ノ際簡單
ニ……

○土屋(源)委員 ソレデハ私ハ成ベク實際
的ナ立場カラ、極ク簡單ニ要旨ダケヲ申上
ゲテ御答ヘテ願ヒタイト思ヒマス、其ノ前
ニ一言申上ゲタイノハ、有富農業ノコトガ
採上ゲラレマシテ、非常ニ農家ノ合理的經
營ト云フヤウナコトガ問題ニナツテ参リマ
シタ、併シ此ノ家畜ヲ農家ニ持タスト云フ
コトニ付テ、色々逆條件ガアルノデアリマ
ス、其ノ一ツハ飼料ノ問題デアリマス、是
ハ過日ノ大石委員ノ質問ニ對シテ、大臣
ノ懇切ナル御答ヘモアリマシタカラ多ク
申上ゲマセヌ、又實際當ツテ見ルト、人

手ノナイ時ニ家畜ノ世話ヲスルコトハ面
倒ダカラ、ト云フ氣風ガアルノデアリマシ
テ、一面農家ニ對シ、此ノ家畜利用ト云フ
コトニ周到ナル指導ヲスルコトガ必要デハ
ナイカト思フノデアリマス、今度皇國農村
ノ確立問題カラ、色々標準ナドガ出來ルヤ
ウデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テ牛馬
ヲ利用スル、殊ニ牛耕、馬耕ナドヲ婦女子
ニマデヤラセルト云フヤウナ點ニ付テ、十
分ナル注意ガ願ヒタイト思フノデアリマ
ス、ソレト又有畜農業ノ立場カラ申シマス
ト、土地ノ地力ヲ維持スルト云フコトガ非
常ニ大切ナ問題ダラウト思ヒマス、單ニ勞
力ヲ助ケルノダト云フヤウナ簡單ナ有畜農
業ノ理念デナシニ、地力ヲ維持スルノデア
ル、更ニ地力ヲ増進スルノデアル、之ニ依
ツテ今後ノ生産ヲ増大シテ行クノデアル、
ト云フヤウナ理念ハ、是カラ家畜ヲ持つ者
又現在持つテ居ル者ニモ能ク徹底サセナケ
レバナラスト思フノデアリマス、此ノ點ハ豫
メ當局ノ御認識ヲ御願ヒシテ置ク次第デア
リマス

次ニ申上ゲタイノハ、牛ヲ殖ヤスト云フ
問題デアリマスガ、牛ヲ殖ヤストコトニ付テ
現況ヲ見マスルト云フト、逆ナ情勢ガアル
ノデアリマス、ソレハ何カト申シマスレバ
御承知ノ如ク肉牛ニ作リマスノニ、多ク年
盛リノ雌牛、牝牛ヲ潰シテ居ルト云フ事實
ガアルノデアリマス、自由經濟時代ニハ牛
肉ヲ、所謂最モ立派ナ肉ヲ賞味スル爲ニ、
極端ニ壯齡ノ、生ミ盛リノ牛ヲ、寧ロ生マ
ヌ内ニ之ヲ無理ヤリニ肥育シテ出スト云フ
ヤウナ慣例ガ産地ニアツタノデアリマス、
是ハ洵ニ惜シイコトデアリマシテ、國ガ幾
ラ牛ノ増殖ヲヤカマシク言ヒマシテモ、母

胎ニナルベキ牝牛ヲドシノ潰シテシマフ
ト云フコトデハ、何ニモナラヌノデアリマ
ス、デアリマスカラ、此ノ年若イ最中ノ牛
ヲ潰スト云フコトニ對シテハ、何等カノ抑
制措置ヲ講ジテ貴ヒタイト思フノデアリマ
ス、其ノ反面牝牛ヲ去勢致シマシテ、寧
丸ヲ抜キマスと云フト、牛ハ非常ニ從順ニ
カツテ使ヒヨクナル、而モ相當力モ出來、
發育モスルノデアリマス、殊ニ牝ヨリハ體
格モ大キイノデアリマス、之ヲ成ベク農家
ニ飼育サス、而モ相當ノ年月ノ間、少クモ
三、四年或ハ四、五年ノ間之ヲ農家ニ飼育セシ
メテ、最後ニ肉トシテ之ヲ出スト云フコト
ニナリマスレバ、非常ニ肉資源ノ涵養ニナ
ルト思フノデアリマス、現在ノ狀況ヲ見
マスと云フト、牝牛ノ仔ガ出來ルト云フ
ト、産地デハ非常ニ安イノデアリマス、ソ
コデ要ラスモノガ出來タヤウニ見マシテ、
直チニ賣棄テルノデアリマス、是ハ粗末ナ
狀態ガ管理サレマスカラ、結局其ノ牛ハ物
ニナラヌノデアリマス、斯ウ云フ狀態デ肉
資源ガ徒ラニ遺棄サレテ居ルト云フヤウナ
狀況デアリマスカラ、是ハ是非共將來肉資
源涵養ノ爲ニ、又役用ト云フヤウナ方面カラ
見マシテモ、十分保持スルヤウニ指導願ヒ
タイト思フノデアリマス、此ノ點ガ一ツ

次ニハ、牛乳ガ足ラナクテ困ツテ居ルノ
デアリマス、是ハ御承知ノ通りニ、人口ヲ
急速ニ増殖シヨウト云フヤウナ時ニ、乳幼
兒ノ死亡率ガ大變高イト云フヤウナ事實カ
ラ考ヘマシテモ、近來乳ノ不足ノ爲ニ、混
乳ナドモ盛シニヤツテ居リマスルガ、是等
ノ爲ニ乳兒ヲ非常ニ害シテ居ルコトハ事實
デアリマス、直接サウシタ乳幼兒ノ保育ノ
爲メ、或ハ一般衛生ノ見地カラ、國民保健

胎ニナルベキ牝牛ヲドシノ潰シテシマフ
ト云フコトデハ、何ニモナラヌノデアリマ
ス、デアリマスカラ、此ノ年若イ最中ノ牛
ヲ潰スト云フコトニ對シテハ、何等カノ抑
制措置ヲ講ジテ貴ヒタイト思フノデアリマ
ス、其ノ反面牝牛ヲ去勢致シマシテ、寧
丸ヲ抜キマスと云フト、牛ハ非常ニ從順ニ
カツテ使ヒヨクナル、而モ相當力モ出來、
發育モスルノデアリマス、殊ニ牝ヨリハ體
格モ大キイノデアリマス、之ヲ成ベク農家
ニ飼育サス、而モ相當ノ年月ノ間、少クモ
三、四年或ハ四、五年ノ間之ヲ農家ニ飼育セシ
メテ、最後ニ肉トシテ之ヲ出スト云フコト
ニナリマスレバ、非常ニ肉資源ノ涵養ニナ
ルト思フノデアリマス、現在ノ狀況ヲ見
マスと云フト、牝牛ノ仔ガ出來ルト云フ
ト、産地デハ非常ニ安イノデアリマス、ソ
コデ要ラスモノガ出來タヤウニ見マシテ、
直チニ賣棄テルノデアリマス、是ハ粗末ナ
狀態ガ管理サレマスカラ、結局其ノ牛ハ物
ニナラヌノデアリマス、斯ウ云フ狀態デ肉
資源ガ徒ラニ遺棄サレテ居ルト云フヤウナ
狀況デアリマスカラ、是ハ是非共將來肉資
源涵養ノ爲ニ、又役用ト云フヤウナ方面カラ
見マシテモ、十分保持スルヤウニ指導願ヒ
タイト思フノデアリマス、此ノ點ガ一ツ

上牛乳増産ノ必要ハ勿論アリマスガ、南方ノ事情トシテモ、新シイ民族間ニハ、煉乳ナドヲ盛シニ嗜好消費スル實績ガアルノデアリマス、是等ニ對シマシテモ亦裏付ノ物資トシテ、相當増産シナケレバナラヌト云フヤウナコトガアリマス、牛乳ノ増産ハ從ツテ乳牛ノ増加デアルト言ヘル、此ノ對策ニ付テハ當局ニ於テモ御披リナク色々ノ施策ヲナサツテ居ラレト思フノデアリマス、ガ併シ或ル者ハ、斯ウ云フ情勢ニ應ジテ、盛シニ乳牛ノ牝ヲ和牛ニ掛ケテ、雜種デモ作ツテ乳デモ殖ヤシタラドウダト云フ、極メテ皮相ナ見解ヲ持ツテ居ル者ガアルヤウデアリマスガ、斯様ナコトデハ到底乳ノ問題ハ解決セヌ、低能率ノモノヲ如何ニ作リマシテモ、農家ノ不經濟ヲ來スノミナラズ、

アル爲ニ、左様ナコトガ行ハレルノデハナイカト思フノデアリマスガ、左様ナ都會ノ不衛生ノ狀態ヲ管理シマシタ牛カラ搾ツタ乳ヲ、衛生的ニ處理シマシテモ、母體其ノモノガ不健全デアリマスカラ、立派ナ乳トハ言ヘナイノデアリマス、寧ロ非常ニ條件ノ好イ農村デ生産シタ所ノ乳ヲ、出來ルダケ簡易ナ處理ニ依ツテ處理シテ、乳牛飼育ヲ一元化シテ行クト云フコトニナリマスレバ、農家ノ手取モ自然多クナツテ參リマシテ、乳牛ヲ飼ハウト云フ者ガ期セズシテ殖エテ來ルト思フノデアリマス、此ノ方法ニ依ツテ牛乳ヲ増産スル外、適切ナル方法ハナイノデハナイカト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、農林當局ノ御所見ハドウデアリマスルカ、伺ヒタイノデアリマス

テ非常ニ能率ガ落チルノデアリマス、今日ノヤウナ事情下ニ於キマシテハ、私實際農村ニ居ツテ見テ居ルノデアリマスガ、今日ノ如キ飼料事情ノ場合ニ於テハ、非常ニ産卵數ガ減ツテ居ルノデアリマス、寧ロ在來ノ名古屋種、或ハ三河種ノヤウナ極メテ健全ナ雞ナドデアリマス、是ハ又抵抗力ガアリマシテ、産卵率モ左マデ影響ガナイノデアリマス、斯ウシタモノヲ副業的ニ、農家ノ殘滓ヲ食ハスト云フコトデ放シ飼ヲシマスレバ、相當ナ成績ヲ擧ゲルノデアリマス、而モ肉トシテハ白色「レグホン」ニ非常ニ勝ツテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ナドモ實際問題トシテ此ノ時局下ニ於テハ適當デハナイカ、殊ニ專業養雞ナドハ今日餘リ獎勵スベキモノデハナイ、唯ココデ考ヘマスノハ、折角多年ノ間研究シ、改良ニ改良ヲ加ヘタ豚ノ品種ニシテモ、雞ノ品種ニシマシテモ、其ノ種族ヲ絶ヤスコトハ非常ニ惜シイコトデアリマス、ダカラ是等ハ種雞場、或ハ種畜場、或ハ試驗場ニ於テ、原種ヲ保留スルト云フコトハ國家ニ於テヤツテ貴ハナケレバナラヌト思ヒマス、幸ヒ豚ニシテモ一度ニ子ヲ十頭バカリ産ミマスシ、雞ニスレバ一年ニ三百バカリノ卵ヲ産ムノデアリマスカラ、原種ヲ保持シテ置キマスレバ、一朝事情ガ好クナツタ時ニ、ソレ等ヲ作ルト云フコトハ何デモナイコトデアリマス、此ノ時代ニ合フヤウナ養雞、養豚ト云フヤウナコトヲ考ヘルコトモ大切デハナイカト思ヒマス、私ハ時間ヲ省略スル意味デ意見ノミヲ申上ゲマシタガ、是等ニ對シテ農林當局ハドウ云フ方向ニ畜産ヲ持ツテ行カレルノカ、ト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 有畜農業ノ理念ニ付キマシテハ、土屋君ノ御話ノ通り、農林省モ同ジ理念ヲ以テ指導シテ居リマス、又牛ノ問題ニ付テモ、色々御意見ノアリマシタ點ハ、十分農林省トシテハ研究ヲ致シマシテ、今日ノ時局ニ即應シテ牛ノ増殖並ニ利用等ニ付テハ、考慮ヲ加ヘテ參リタイト思ツテ居リマス、乳牛ノ問題ハ、御話ノヤウニ都市ノ仔牛ノ問題ガ相當今問題ニナツテ居リマスノデ、之ヲ農村ニ分有セシメテ保護シテ行クト云フコトニ付テハ、其ノ方向ニモ色々ノ施策ヲ講ジテ參リタイト思ツテ居リマス、豚、雞ノ品種ニ付キマシテハ、從來農林省ガ指導シテ參リマシタノハ、豚ニ於テモ、雞ニ於テモ、其ノ生産ノ能率的ナ點カラ考慮シテ、其ノ品種ヲ獎勵シテ參ツタノデアリマスガ、今日ノ時局ニ即應シマシテ、又考ヘテ變ヘナケレバナラヌ點モアルヤウニモ思ヒマスカラ、十分御意見ノ程ハ伺ツテ置キマシテ、研究シテ見タイト考ヘマス

○土屋(源)委員 食肉ノ統制ニ付テハ可ナリ色々ナ非難ガアルノデアリマシテ、私色々考究シテ、斯ウ云フヤウニヤツテハドウカト云フ私案ヲ持ツテ居リマスノデ、其ノ點ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス

第一ハ、今肉ノ規格ノ決定ハ業者ニ依ツテヤラレテ居ルノデアリマス、例ヘバ豚肉ノ規格ヲ一等ナリ二等ナリト決メルノハ、統制會社或ハ業者ニ依ツテ決メラレテ居リマスガ、生産者ハ之ニ信頼ヲ置クノ不安ヲ持ツノデアリマス、所ガ屠畜検査員ト云フモノガ各屠場ニアリマスカラ、是ハ大抵午前十時カ十一時デ用事ガ済ミマスノデ、規格ヲ定メルニ付テノ嚴正ナル檢定ヲ此ノ屠畜検査員ヲシテナサシメタラドウカ、即チ

是ハ過去ニ於テ、雜種萬能時代ニ幾多縮尻ツタ苦イ經驗ガアルノデアリマス、又此ノ乳牛飼育ノ問題ハ、洵ニ不自然ナ狀態ガアルノデアリマス、東京市ヲ始メ非常ナ大都市ナドデ、土地ノ高イ所デ乳屋ヲヤツテ居ル、斯ウ云フ所デ乳屋ヲヤリマスカラ、隨テ乳牛ヲ飼育スル衛生ノ爲ニモ惡イ、又乳價ト云フモノモ自然生産費ガ非常ニ掛ル、斯ウ云フコトガアリマスカラ、出來タ牛ノ仔ナドハ、折角高イ乳ヲ飲マセルヨリハ潰シタ方ガ宜イ、或ハ棄テタ方ガ宜イト云フコトニナリマス、恐ラク此ノ狀況ハ近時非常ニ強クナリマシテ、數万頭ニ及ンデ居ルト思フノデアリマス、是等ハ、折角立派ナ血統ヲ持ツテ居ル所ノ乳牛ノ仔ヲ育テ上ゲテ、立派ナ乳ノ資源ニスルト云フコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス、今日市場デ賣ツテ居ル所ノ乳價ハ、原料乳ト市場デ賣ツテ居リマス乳價トノ間ニ大キナ開キガ

次ニハ、豚、雞デアリマス、豚ナドモ白イ豚一色ニ今日ナツテ居ルノデアリマス、昔ハ黒イ豚ガアツタノデアリマス、サウ云ツタ白イ豚ハ、成程飼料事情ノ好イ時ニハ結構デアリマスガ、今日ノ如キ飼料事情ノ惡イ時ニハ、寧ロ多少粗食ニナリマシテモ、粗飼料デ、或ハ市街地ノ厨芥飼料ナドデドン／＼肥ツテ行クヤウナ或ハ支那豚デアルトカ、或ハ「パークシヤ」系ト云フヤウナ、左マデ高能率デナクテモ、粗放ナ飼料ニ耐ヘルヤウナモノヲ一般ニヤラセルコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス、更ニ又雞ニ付キマシテハ、是亦白一色ニナツテ居リマス、是ハ白色「レグホン」ト云フ一箇年三百七十モ卵ヲ産ムト云フヤウナ極メテ高能率ナモノヲ、近年非常ニ獎メテ來タノデアリマスハ、是亦飼料事情ノ好イ時ニ於テハ洵ニ經濟的ナ高能率ナ雞デアリマス、所ガ斯様ナ雞ハ、何レモ環境ノ如何ニ依ツ

テ非常ニ能率ガ落チルノデアリマス、今日ノヤウナ事情下ニ於キマシテハ、私實際農村ニ居ツテ見テ居ルノデアリマスガ、今日ノ如キ飼料事情ノ場合ニ於テハ、非常ニ産卵數ガ減ツテ居ルノデアリマス、寧ロ在來ノ名古屋種、或ハ三河種ノヤウナ極メテ健全ナ雞ナドデアリマス、是ハ又抵抗力ガアリマシテ、産卵率モ左マデ影響ガナイノデアリマス、斯ウシタモノヲ副業的ニ、農家ノ殘滓ヲ食ハスト云フコトデ放シ飼ヲシマスレバ、相當ナ成績ヲ擧ゲルノデアリマス、而モ肉トシテハ白色「レグホン」ニ非常ニ勝ツテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ナドモ實際問題トシテ此ノ時局下ニ於テハ適當デハナイカ、殊ニ專業養雞ナドハ今日餘リ獎勵スベキモノデハナイ、唯ココデ考ヘマスノハ、折角多年ノ間研究シ、改良ニ改良ヲ加ヘタ豚ノ品種ニシテモ、雞ノ品種ニシマシテモ、其ノ種族ヲ絶ヤスコトハ非常ニ惜シイコトデアリマス、ダカラ是等ハ種雞場、或ハ種畜場、或ハ試驗場ニ於テ、原種ヲ保留スルト云フコトハ國家ニ於テヤツテ貴ハナケレバナラヌト思ヒマス、幸ヒ豚ニシテモ一度ニ子ヲ十頭バカリ産ミマスシ、雞ニスレバ一年ニ三百バカリノ卵ヲ産ムノデアリマスカラ、原種ヲ保持シテ置キマスレバ、一朝事情ガ好クナツタ時ニ、ソレ等ヲ作ルト云フコトハ何デモナイコトデアリマス、此ノ時代ニ合フヤウナ養雞、養豚ト云フヤウナコトヲ考ヘルコトモ大切デハナイカト思ヒマス、私ハ時間ヲ省略スル意味デ意見ノミヲ申上ゲマシタガ、是等ニ對シテ農林當局ハドウ云フ方向ニ畜産ヲ持ツテ行カレルノカ、ト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 有畜農業ノ理念ニ付キマシテハ、土屋君ノ御話ノ通り、農林省モ同ジ理念ヲ以テ指導シテ居リマス、又牛ノ問題ニ付テモ、色々御意見ノアリマシタ點ハ、十分農林省トシテハ研究ヲ致シマシテ、今日ノ時局ニ即應シテ牛ノ増殖並ニ利用等ニ付テハ、考慮ヲ加ヘテ參リタイト思ツテ居リマス、乳牛ノ問題ハ、御話ノヤウニ都市ノ仔牛ノ問題ガ相當今問題ニナツテ居リマスノデ、之ヲ農村ニ分有セシメテ保護シテ行クト云フコトニ付テハ、其ノ方向ニモ色々ノ施策ヲ講ジテ參リタイト思ツテ居リマス、豚、雞ノ品種ニ付キマシテハ、從來農林省ガ指導シテ參リマシタノハ、豚ニ於テモ、雞ニ於テモ、其ノ生産ノ能率的ナ點カラ考慮シテ、其ノ品種ヲ獎勵シテ參ツタノデアリマスガ、今日ノ時局ニ即應シマシテ、又考ヘテ變ヘナケレバナラヌ點モアルヤウニモ思ヒマスカラ、十分御意見ノ程ハ伺ツテ置キマシテ、研究シテ見タイト考ヘマス

○土屋(源)委員 食肉ノ統制ニ付テハ可ナリ色々ナ非難ガアルノデアリマシテ、私色々考究シテ、斯ウ云フヤウニヤツテハドウカト云フ私案ヲ持ツテ居リマスノデ、其ノ點ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス

第一ハ、今肉ノ規格ノ決定ハ業者ニ依ツテヤラレテ居ルノデアリマス、例ヘバ豚肉ノ規格ヲ一等ナリ二等ナリト決メルノハ、統制會社或ハ業者ニ依ツテ決メラレテ居リマスガ、生産者ハ之ニ信頼ヲ置クノ不安ヲ持ツノデアリマス、所ガ屠畜検査員ト云フモノガ各屠場ニアリマスカラ、是ハ大抵午前十時カ十一時デ用事ガ済ミマスノデ、規格ヲ定メルニ付テノ嚴正ナル檢定ヲ此ノ屠畜検査員ヲシテナサシメタラドウカ、即チ

國家ガ此ノ檢定ヲシテハドウカ、生産者ハ遠イ所カラ荷ヲ送り込ンデ、自分ノ品ニ付テ其ノ等級ハ業者ニ決メラレルト云フヤウナ不合理ガアルノデアリマス、全國ニ六百人バカリ居ル検査員ニハ、既ニ俸給ヲ拂ツテアルノデスカラ、之ニ僅カノ増シ手當ヲ國ノ方デ出ス位ノコトデ解決付クノデアリマス、國費カラ出シテモ僅カモノデ、是ハ實行ハ易ミタルモノデアリマスガ、之ヲヤツテ貰ヘバ一般モ非常ニ信賴ヲ持ツコトガ出來ルノデアリマス

次ハ牛肉ノ小賣狀況ヲ見ルニ、ドレモ是モ一等ニ賣ツテ居ルノデアリマス、所ガ等級ニハ相當ナ階段ガアルノデアツテ、其ノ間小賣商ガ可ナリ利益ヲ壟斷シテ居ル所ガアルノデアリマス、ソコデ小賣ニ於テハ上肉、屑肉或ハ規格品、規格外、此ノ二ツ位ニシテ賣ラセ、此ノ階級ヲ壓縮シタコトニ依ツテ生産者ハ、其ノ肉ノ買入ノ場合ニ之ヲ生産者ニ還元スルヤウナ方法ヲ採ツテ貰ヒタイ、統制會社ガ生産者カラ肉ヲ買ツテ居ルノハ、一等カラ四等マデデアリマスガ、ソレガ十圓位ノ開キガアリマスノデ、其ノ開キヲ五圓位ニシテ貰ヘレバ生産者ハ助カルノデアリマス、又場合ニ依ツテハ、其ノ利益ノ出タモノダケ消費者ニ安ク賣ルト云フ方法モアリマス、是ハ實情カラ申シテ左様ニサレルコトガ、取締上ニ於テモ實際ニ宜イコトデハナイカト考ヘルノデアリマス

今一ツハ、統制會社ノ扱ヒニ依ツテ肉ノ集荷、配給ノ段階ガ殖エルト云フコトニ付テ非常ニ非難ヲ聞クノデアリマスガ、是ハ實際デアリマスカラ、先ヅ集荷ノ方面ニ於テハ、商人ノ手ヲ經ズシテ、今度出來ル農業

團體ガ中心ニ集荷ヲ一本建デヤル、又配給ニ至ツテハ、縣ノ統制會社カラ出シ、配給ノ團體ハ縣ノ卸商業組合、更ニ小賣商業組合、小賣人ト云フ風ナ段階ニナツテ居リマスガ、此ノ卸商ト小賣商ハ大抵同一人デアリマス、場合ニ依ツテハ違フカモ知レマセヌガ、全國ヲ通ジテ殆ド同ジヤウナ者ガ縣ノ卸商人デアリ、又小賣商人ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ段階ヲ壓縮シテ一ツニシテシマフト云フコトハ、是ハドウシテモヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ私ノ氣付イタ點ヲ申上ゲテ、敢テ御答辯ヲ願ハウト思ハヌノデアリマスガ、何カ御所感ガアリマシタラ伺ツテ置キタイト思ヒマス、以上デアリマス

○井野國務大臣 十分御意見ノ程ハ研究致シマシテ、善處致シタイト思ヒマス

○東郷委員長 マダ外ニ一、二質疑ヲ留保シテ居ル方モアリマスレドモ、農業團體法案ニ對スル一般的ナ質疑ハ此ノ程度デ終了致シタコトニ致シタイト存ジマス、次回カラハ水産業團體法案ニ關スル審議ヲ進メマス、尙ホ兩案ノ討論ニ入ル前ニ、委員長ノ必要ト認メタ場合ニハ、或ハ質疑ヲ御許シスルカモ知レマセヌ、以上ノコトヲ御含ミ置キヲ願ヒマス、次會ハ十二日ノ午後一時カラ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時五十分散會